

公益財団法人 永守財団 平成27年度 事業報告書

自 平成27年07月01日

至 平成28年06月30日

当財団法人は、「科学技術の分野において、国内外の研究開発活動に対する顕彰を通じて研究者・開発者を支援し、もって国内外の科学・産業の発展に寄与するとともに、豊かな生活および地球環境の保全に貢献すること」を目的としている。

上述の目的を達するため、平成27年7月1日、内閣府より公益認定の通知を受け、当財団法人は公益財団法人となり、追加で平成27年12月24日、研究助成事業が公益事業として認定の通知を受け、助成事業を開始した。

1) 表彰事業

1. 第1回永守賞大賞の決定、および『第1回永守賞表彰式典』の举行

平成27年8月30日（日）、京都ホテルオークラにて、第1回永守賞受賞者講演を開催後、委員長1名、委員4名で構成される審査委員会にて審議を行い、第1回永守賞大賞受賞者を決定。

同日、『第1回永守賞表彰式』を举行し、下記の通り、表彰状、副賞などを授与した。

《永守賞大賞》 ◆表彰状、副賞：賞杯、500万円

氏名	所属	役職
赤津 観	芝浦工業大学 工学部 電気工学科	教授

《永守賞》 ◆表彰状、副賞：賞杯、100万円

氏名	所属	役職
ヴォルフガング グルーバー	ヨハネス・ケプラー大学（リンツ） 電気駆動・電力工学部 LCM社	助教 上席研究員
長谷川 泰久	名古屋大学大学院 工学研究科	教授
蕭鈞毓（シャオ チュンユウ）	国立台湾科技大学 電気工学部 キリウスインダストリアル株式会社	助教 テクニカルアドバイザー
森田 剛	東京大学大学院 新領域創成科学研究科	准教授
オマール スカリオーネ	ファウルハーバー・ミニモーター社 製品開発	R&Dエンジニア

2. 第2回永守賞について

【募集】 期 間：平成27年11月1日～平成28年1月31日

分 野：モータ、アクチュエータ、発電機およびそれらの制御方法、その応用技術等に関連する技術分野

対象者：国内外の大学、公的機関、民間企業等に所属し、優れた功績をあげた研究者または開発者

【審査】 国内、海外合わせて71件の応募者について、委員長1名、委員4名で構成される審査委員会にて審査を行い、

審査結果報告書が提出され、理事長により第2回永守賞受賞者6名、および特別賞1名を下記の通り決定した。

審査委員会開催日：平成28年4月18日（月）

《永守賞》

氏名	所属	役職
荒田 純平	九州大学大学院 工学研究院機械工学部門	准教授
藤本 博志	東京大学大学院 新領域創成科学研究科	准教授
エレナ ロモノヴァ	アイントフォーフェン工科大学	Full Professor
真下 智昭	豊橋技術科学大学 エレクトロニクス先端融合研究所	准教授
中村 武恒	京都大学大学院 工学研究科 電気工学専攻	准教授
西川 敦	信州大学 繊維学部機械・ロボット学系	教授

《特別賞》

氏名	所属	役職
佐川 真人	NDFEB株式会社	代表取締役

2) 助成事業

1. 『研究助成2016』について

【内容】 研究助成金：100万円/1件

【対象期間】2016年10月～2017年9月末日まで

【募集】 期 間：平成28年2月15日～平成28年5月10日

分 野：モータ、アクチュエータ、発電機およびそれらの制御方法、その応用技術等に関連する技術分野
 対象者：日本国内の大学・大学院・研究所等に所属し、対象分野に関する研究を主体的に進め、
 科学・産業の発展に貢献するところが大きいと思われる研究者（個人）

【選考】 国内44件の申請者について、委員長1名、委員2名で構成される選考委員会にて選考を行い、
 選考結果報告書が提出され、理事長により『研究助成2016』助成対象を下記の通り決定した。
 選考委員会開催日：平成28年6月11日（土）

氏名	所属	役職	研究題目
井上 征則	大阪府立大学大学院 工学研究科 電気情報システム工学分野	准教授	永久磁石同期モータの出力密度向上のための制御法に関する研究
北山 文矢	茨城大学 工学部	助教	広周波数帯駆動のための2軸独立駆動型リニア振動アクチュエータの開発
境野 翔	埼玉大学 工学部 電気電子システム工学科	助教	駆動側・負荷側における位置・カセンサを用いた油圧モータの共振抑制制御
杉元 紘也	東京工業大学 工学院 電気電子系	助教	冷却ファン用ベアリングレスモータの回転子重心位置と振動に関する研究
仲田 佳弘	大阪大学大学院 基礎工学研究科 システム創成専攻	助教	一体構造空電ハイブリッドアクチュエータの作動流体を用いたコイル冷却機構の研究開発
松谷 祐希	熊本高等専門学校 機械知能システム工学科	助教	人間の筋骨格構造に基づいた次世代型ロボットアームの開発